

第38回 大鹿村リニア連絡協議会質疑応答概要

日時：令和7年12月18日 午後6時30分から

場所：大鹿村交流センター

1. 県発注工事について

意見なし

2. 南アルプストンネル工事・伊那山地トンネル工事について

Q：工事カレンダーについて、この会議の前に観光協会の集まりがあり、その中でなかなか観光客が増えてこない、心配という意見もたくさん出ました。

発生土運搬のダンプカーの問題も、話し合いをする度に出てきます。問題になっているのは祝日に発生土運搬がある、今回のカレンダーも何も印がついていない状況だと思う。

前回9月の時は、黄色で調整中とあったが、調整中でやはり発生土運搬をするという変更があった。今回については調整中もないが、全て発生土運搬があるのか。観光に携わっている人が祝日、全てとは言えないが観光シーズンについて、発生土の運搬はやめてほしいと切実な要望が出ている。どのように考えているのか。

JR：先日、観光協会員の皆様との懇談の場で、そのようなご要望、ご意見いただいたことは事実です。昨年のものでは、調整中という書き方も一部させていただきました。

調整中の調整の仕方についても、いろいろとご意見がありましたので、事務局である村とやり方について、検討させていただきたいとお答えをした次第です。調整中自体も、やり方について検討を進めています。そのため調整中とは入れていません。

いただいたご意見、ご要望については真摯に受け止め、村の観光のために運休できるかに関しては、JRとJVも含め、そして村も含めてご相談させていただきたい。

まだご相談の状況にもなっていないことから、我々の希望として今日の工事カレンダーをお示しした次第です。決して検討しない、調整しないということではありません。もうしばらくお待ちください。

Q：鳶ヶ巣沢環境対策事業の状況で、護岸工と土留擁壁とあるが、要対策土は擁壁に使うのか。

JR：資料1 7ページ左下に標準断面図があり、そこに土留擁壁と記載をしています。こちらに関して、今のところ要対策土を入れる計画ではありません。おそらく小渋川変電所のご説明をしたとき、そちらの環境保全計画書で公表していますが、そちらの話かと存じます。鳶ヶ巣沢では検討していません。

Q：最近近隣の豊丘村でも、要対策土の処理について、いろいろ問題が生じているようですが、昨年山梨県の早川町で、発生土仮置き場の近傍で、セレンが基準値を超過したこと、原因を調べるのに遮水シートの破損の可能性があるということで、対策土を撤去して調べるというような報道があり、その後の経過がどうなっているかわからない。まだ結果はわかつてないのか知りたい。

JR：山梨県早川町のお話だと認識していますが、私どものところまで情報が上がってきていません。今後確認します。

Q：要対策土はあちこちで懸念があり、大鹿でも不溶化の実験をしていただき、不溶化で処理していただく話は聞いていますが、実際仮置きしている場所があり、仮置きが長期化することがあると、山梨県のそういった近傍で、基準超のものがでている話もあったため非常に気にはしています。ぜひ経過がわかれれば、他人事ではないため情報提供していただきたい。

JR：要対策土に関しては、これまでも説明していますが国のマニュアルに基づいて、遮水シートを二重にする、そのような対策で土を置く計画をしているところがあります。

一方、今仮置き場E、先ほど説明した小渋川変電所予定地ですが、こちらにも仮置きをしています。こちらはシートを上にかける、下はアスファルト舗装をしっかりとし、水を全て1ヶ所に集めて処理する形にしています。

そちらもずっとモニタリングしており、今のところ問題はありませんが、ご心配はごもっともですのでこれまで通りしっかりと確認していきます。

他県についても、情報をしっかりと把握してご報告できるようにします。

3. その他について

意見なし

4. 事務局からの報告について

Q：お米、豆腐、野菜とたくさん買ってもらってありがたいが月に1回ぐらい、地元のお弁当屋さんのお弁当を食べてもらったらと思う。

月に1回ぐらい美味しいお弁当を、食べてもいいかと思うがいかがか。

JR：各作業員さんは賄い付きで作業所にいるので、先々まで予定が決まっている部分もあります。今すぐにお答えできないが、できるかどうかは相談させていただきたい。

Q：賄いをやってくれる人たちの手を煩わせることもないため、1日ぐらい考えてください。